

# 参考資料

平成 26 年度 当初予算見積

## 主要事業説明資料

平成 25 年 12 月 9 日

高知県教育委員会

# 主要事業一覧

※ ( ) 書きはH25当初予算額

※各事業の「▶ 数字」は説明資料のページ

## 1 心身ともに健やかで「夢」と「希望」にあふれた土佐人を育てよう

### 小中学校キャリア教育推進事業 4,996千円 (4,977千円) ▶ 9p

児童生徒の社会的・職業的自立に向け、「高知のキャリア教育」指針に基づき、各地域の特色を生かしたキャリア教育の実践を支援するとともに、県民ぐるみのキャリア教育を推進する

- ・各学校におけるキャリア教育の全体計画、指導計画の作成
- ・中学生用キャリア教育副読本の活用事例の普及
- ・キャリア教育推進地域事業の実施 (3 地域)

### 高等学校 生徒パワーアップ事業 24,715千円 (22,749千円) ▶ 10p

様々な体験活動を通して生徒が自分の将来について考え、自らの未来を切り拓き、社会を生き抜く力を育む

- ・スキルアップ講習会の実施、県内企業・大学等の訪問、進路講演会の開催、インターンシップの実施 など

### 高等学校 学校パワーアップ事業 5,077千円 (4,022千円) ▶ 11p

県立高校の「学びの環境」としての機能を高め、力のある学校づくりを推進する

- ・キャリア教育の実践研究(5校)、学校経営診断による組織マネジメント研究(3校)、教育課程の改善・研究 など

### 道徳教育充実プラン 12,554千円 (9,703千円) ▶ 12p

児童生徒の道徳性の向上を図るため、拠点地域において学校間や家庭・地域との連携及び道徳実践の指導を強化した道徳教育を推進するとともに、取組の県全体への普及を行う

- ・道徳教育地域連携事業の実施 (4 地域)
- ・新「心のノート」の活用推進
- ・道徳教育重点推進校、道徳推進リーダーの取組・成果の普及



### NEW 夢・志を育む「開発的な生徒指導」推進事業 7,370千円 ▶ 13p

生徒指導推進員等の配置による問題行動等への対応の強化、統括アドバイザー等の助言による開発的な生徒指導の充実など、学校の実態に応じた組織的な生徒指導を段階的に推進 (中学校 19 校指定)

### NEW いじめ防止対策等総合推進事業 14,010千円 ▶ 14p

県の「いじめ防止基本方針」を踏まえ、いじめの未然防止、早期発見・早期対応の両面から、いじめ問題等への総合的な取組を推進する

#### ◆PTA 人権教育研修への支援 40千円

PTA 研修会を支援し、いじめ問題について啓発を図る

#### ◆県立学校におけるいじめ防止対策組織等の設置 3,588千円

県立学校等において専門家を活用し、いじめ問題への取組を実効的に行う

#### ◆いじめ防止子どもサミット 4,568千円 ▶ 15p

いじめ防止に向けて、子どもたちが主体となる取組を促進するとともに、県民の「いじめ根絶」への意識の高揚を図るために、県内全公立学校の児童会・生徒会代表が参加するサミットを開催

#### ◆ネット問題への総合的な対策 5,814千円 ▶ 16p

子どもたちをネット上のトラブルから守るため、予防のための教育・啓発や、早期発見・早期対応のためのネットパトロール等の取組など、関係機関と連携した総合的な取組を進める

- ・親子で考えるネットマナーアップ事業 (358 千円): 学校における情報モラル教育実践事例集の作成等
- ・学校ネットパトロール (5,456 千円): ネット掲示板、ブログ、プロフ、SNS 等の監視 (民間業者に委託)
- ・児童生徒・保護者・教職員へのネット問題啓発



### NEW 学級づくりリーダー活用推進事業 1,081千円 ▶ 17p

これまで養成した「学級づくりリーダー」のステップアップ・活用を図るとともに、新たに「学級づくり地域リーダー」を養成・活用することを通じて、市町村全体の学級経営力向上への取組を推進する

- ・「学級づくりリーダー」180 名対象に講座を実施し (1 回)、在籍校での普及・実践につなげる
- ・温かい学校・学級づくりを市町村で推進する核となる人材を年間17~18名養成し、各地域における活動を支援する

## 教育相談体制充実費 221,067千円 (215,012千円)

▶▶18p

子どもや保護者等が悩みを相談できる体制を構築するとともに、家庭に起因する課題への多角的な支援の充実を図る

### ◆生徒指導推進事業 14,882千円

- ・教員 OB・警察 OB 等の外部人材を活用し、学校での非行・問題行動の未然防止及び早期発見・早期解決に努める

### 拡◆スクールカウンセラー等活用事業、心の教育アドバイザー等活用事業、スクールソーシャルワーカー活用事業 201,753千円

臨床心理士等の活用による相談活動や社会福祉士等の活用による子どもを取り巻く環境への働きかけを実施

- ・スクールカウンセラー H25:220校(小102,中92,高13,特13)→H26:240校(小107,中107,高13,特13)
- ・心の教育アドバイザー H25:23校(高23,特0)→H26:24校(高24,特0)
- ・スクールソーシャルワーカー H25:24市町村,3県立中学校→H26:25市町村,3県立中学校

### ◆緊急スクールカウンセラー等派遣事業 4,432千円

臨床心理士等の活用による震災で被災した子ども等の相談



## 青少年教育施設振興事業費 4,993千円 (4,847千円)

▶▶19p

- ・中学1年生を対象にした学級づくりや仲間づくりのための集団宿泊訓練の実施
- ・不登校やいじめ問題の解消を目的にした自然体験活動、集団活動の実施

## 子どもの読書活動総合推進事業 5,005千円 (2,648千円)

▶▶20p

子どもの読書環境の地域間格差の解消、読書時間の増加と質の向上への取組

- ・読書ボランティア養成講座の開催(県内3箇所)
- ・読書コミュニティの拠点形成に向けた読書活動推進モデル事業の実施(1市町村)
- ・高知県子ども読書活動推進ネットワークフォーラムの開催(県内3箇所×3回、全県1回)



## 高等学校 学校図書館教育推進事業 3,671千円 (4,928千円)

▶▶21p

県立高等学校図書館の学習・情報センター、読書センターとしての機能向上を図るための条件整備

- ・学校図書館の有効な活用方法等に関する実践的な調査研究の実施
- ・司書教諭や学校司書の資質・指導力向上のためのスキルアップ研修の実施
- ・すべての県立高等学校の図書館に蔵書管理システムを導入

## 地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業 3,540千円 (2,117千円)

▶▶22p

- ・子どもの体力向上支援委員会の開催(年間3回)
- ・地域の人材を活用した取組について実践検証(小学校3校、中学校1校)
- ・親子対象の健康・体力づくりフォーラムの開催



## トップアスリート夢先生派遣事業 7,137千円 (8,610千円)

▶▶23p

児童生徒にスポーツの素晴らしさを実感させ、運動することに対する意欲の向上を図るため、トップアスリートを夢先生として派遣(小学校15校、中学校12校へ派遣、県内3会場で「親子夢の教室」開催)

## 幼児期の身体活動推進事業 777千円 (328千円)

▶▶24p

- ・幼児期における家庭での身体活動の充実に向けた「親子運動遊び教室」を開催(県内3会場)
- ・幼児期の発達段階に応じた運動遊びを指導できる専門指導者を保育所・幼稚園に派遣(40園)
- ・親子運動遊びリーフレットの作成・配布

## 運動部活動指導の工夫・改善支援事業 5,354千円 (9,244千円)

▶▶25p

中学校の運動部活動の充実を図るために、地域の専門的指導力を持った外部人材を派遣

- ・中学校運動部活動へ派遣 H25:50校→H26:60校

## NEW スポーツ指導者活用事業 686千円

▶▶26p

地域の体育団体等に継続的に専門指導者を派遣することで、各団体の主体的・継続的なスポーツ活動の実践と地域指導者の指導力の向上を図る

<b>NEW</b>	<b>スーパー食育スクール事業</b>	<b>9,490千円</b>	▶27p
食育を効果的に進めるために、モデル地域を指定し、大学・企業・行政機関・地域の生産者等の連携によりネットワークを構築し、食育の評価方法等に関するモデルをつくる			
<b>NEW</b>	<b>全国学校給食研究協議大会開催費</b>	<b>1,804千円</b>	▶28p
平成 27 年度全国学校給食研究協議大会を円滑に実施するために、高知県実行委員会の運営に係る費用を補助			
<b>NEW</b>	<b>国民体育大会四国ブロック大会開催費補助金</b>	<b>3,070千円</b>	▶29p
平成 26 年に高知県で行われる国民体育大会四国ブロック大会を円滑に実施するために、運営に係る費用を補助			
<b>NEW</b>	<b>2014 年日中成人スポーツ交流事業</b>	<b>203千円</b>	▶30p
スポーツを通じた日中両国の親善と友好を深めるとともに、両国のスポーツの振興を図る ・4 競技：テニス、卓球、バドミントン、ボウリング 派遣：H26.6 月 受入：H26.12 月			
<b>平成 26 年度全国中学校体育大会高知県実行委員会運営費</b>		<b>22,584千円 (2,323千円)</b>	▶31p
平成 26 年度全国中学校体育大会を円滑に実施するために、高知県実行委員会の運営に係る費用を補助			

## 2 生涯を通し学ぶ喜びに満ちた教育的な風土づくりを進めよう

	<b>教育の日推進事業</b>	<b>4,958千円 (3,121千円)</b>	▶32p
高知県教育の日「志・とさ学びの日」の趣旨に沿った各種取組を市町村との連携により実施することで、県民の皆様の本県教育に対する意識の一層の高揚を図る ・新聞広告等を活用した教育データの公表、関連行事の実施、市町村との連携行事の開催 など			
<b>拡</b>	<b>若者の学びなおしと自立支援事業</b>	<b>12,800千円 (10,185千円)</b>	▶33p
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者サポートステーションを拠点に、中学校卒業時及び高校中途退学時の進路未定者等の若者に対し教育、福祉、医療、労働の関係機関の連携による就学・就労に向けた支援を行う</li> <li>・社会的自立に困難を抱える若者の社会性を育成し、社会的自立を促進するために必要な支援プログラムの充実と指導者用指導書を開発する</li> </ul>			
	<b>図書館活動事業</b>	<b>142,401千円 (121,144千円)</b>	▶34p
県内の読書環境の向上に向け、図書等の資料の充実、物流システムの強化や職員研修の充実を図る			
	<b>高知龍馬マラソン開催事業</b>	<b>20,000千円 (20,000千円)</b>	▶35p
県民のスポーツや健康への関心を高め、生涯スポーツのより一層の普及・振興及びスポーツツーリズムの推進を図るために、市民参加型のフルマラソン (42.195km) を開催			

## 3 高知県の強みを生かし、伸ばす取組を進めよう

	<b>21ハイスクールプラン推進事業</b>	<b>9,200千円 (9,200千円)</b>	▶36p
各県立高校において、生徒一人一人の職業観・勤労観を養い、将来に役立つスキルの向上のため、様々な資格取得に向けた取組を支援			
<b>NEW</b>	<b>郷土史に関する副読本の研究</b>	<b>622千円</b>	▶37p
子どもたちの郷土に対する誇りや愛情を育むために、学習の中で活用できる高知県の近現代での偉人やできごとなど、郷土の歴史に関する副読本を作成			
<b>【再掲】子どもの読書活動総合推進事業</b>			▶20p

## 4 教育の原点である家庭の教育力を高めよう

## 5 乳幼児期における親の役割の重要性を認識し、確かな「子育て力」を育成しよう

### 親育ち支援推進事業 5,105千円 (6,323千円)

▶38p

子どもたちの健やかな育ちのために、「親の子育て力の向上」「園の親育ち支援力の向上」「保護者と園との相互理解の促進」を目的に保護者や保育への支援等を実施する

#### ◆親育ち支援啓発事業 2,078千円

保護者研修：講話、子育て相談の実施 保育者研修：事例研修、講話の実施

#### ◆親育ち支援保育者育成事業 390千円

保育所・幼稚園等で親育ち支援の中核となる保育者をH22～26の5年間で約300名養成

#### ◆親育ち支援保育者フォローアップ事業 1,200千円

親育ち支援の取組を促進するため、親育ち支援保育者育成研修会修了生を対象にフォローアップ研修等を実施

#### ◆保護者の一日保育者体験推進事業 1,437千円

子どもの育ちや保育に関する保護者の理解を促進するため、保護者の保育者体験を実施



## 6 放課後や週末などに積極的に学校にかかわり、地域全体で教育を支えよう

### 拡 放課後子どもプラン推進事業 440,119千円 (380,363千円)

▶39p

放課後等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の多くの方々の参画を得て、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供するとともに、「放課後学びの場」を設置して、子どもたちの学びを支援する

- ・子ども教室（100ヶ所）、児童クラブ（67ヶ所）、放課後学習室（30ヶ所）への運営支援
- ・子ども教室、児童クラブにおける学習支援活動の充実
- ・支援の必要な子どもの利用料減免制度の継続 等

### 学校支援地域本部事業 27,285千円 (26,734千円)

▶40p

地域ぐるみで学校の教育活動を支援する「学校支援地域本部」の継続実施（18市町村33支援本部）

## 7 学校等で将来の基礎となる力を確実に身につけさせよう

### NEW 地域型保育人材育成事業 2,660千円

▶41p

子ども・子育て支援新制度において新たに創設される小規模保育事業及び家庭的保育事業に従事する者に義務づけられる研修を実施

### NEW 特別支援保育推進事業費補助金 13,404千円

▶42p

特別な支援を必要とする子どもの保育の質を高めるため、保育所等への指導や関係機関との連絡調整などを行う「特別支援保育コーディネーター」を市町村に配置

### NEW 学力向上のための学校経営力向上支援事業 20,303千円

▶43p

児童生徒の学力の課題を解決するため、各校が中期的な視点に立ち策定した「学校経営計画」に基づく学力向上のための取組を支援し、各学校における組織力向上と授業改善を図る。

- ・各小中学校で中期的な視点に立った「学校経営計画」の作成
- ・学校経営アドバイザー（7名）による学校への支援
- ・「わかる授業づくり」ハンドブックの配付・活用
- ・中学校学力向上推進校への支援訪問（17校指定）

### NEW 土曜授業を活用した魅力ある教育課程モデルづくり 2,100千円

▶44p

中期的視点に立った学校経営計画に基づき、土曜授業を実施する学校を指定し、教育課程の実践モデルを構築

### 高知県学力定着状況調査実施事業 30,095千円 (38,237千円)

▶45p

小学校中学年の学力の二極化、中1ギャップによる学力の低下への対応として、児童生徒（小4・5、中1・2）の学力の定着状況を把握し、学習指導の改善や学校・教育委員会の学力向上のための検証改善サイクルの確立に活用

## ことばの力育成プロジェクト推進事業 141,483千円 (84,911千円)

▶46p

児童生徒の思考力や表現力の向上、豊かな心の育成のために、国語学習シートの活用、学校図書館活動やNIE活動を推進するとともに、ことばの力を高めるためのモデル実践を行う学校を指定し、取組の普及を図る

- ・ことばの力育成プロジェクト指定校における授業研究、学習活動の充実、取組の普及(重点校3校、推進校18校)
- ・新聞活用による授業改善、学校新聞づくりコンクールの実施
- ・学校図書館環境整備への補助(支援員配置、エアコン設置)

## NEW 算数・数学学力向上実践事業 6,973千円

▶47p

算数・数学担当教員の授業力・専門力を高め、児童生徒の思考力の向上、基礎・基本の定着を図ることで算数・数学の学力の向上につなげる

- ・授業改善プランに基づく支援訪問の実施
- ・数学思考力問題集の作成及び活用、数学B問題集の活用
- ・単元テストや算数・数学シートの活用
- ・算数・数学思考オリンピックの実施
- ・採用5~9年次の中学校数学教員を対象に教育センターで半年間の集中研修を実施
- ・教科モデルリーダー認定者を対象に5日間の合宿研修を実施
- ・上記を除く中堅教員を対象に地域実践研究を実施



## 理科教育推進プロジェクト 7,734千円 (5,566千円)

▶48p

児童生徒の理科に対する興味・関心を高め、科学的な思考力や表現力を育むために、理科教育の中核となる教員を養成するとともに、拠点となる学校を育成することで、本県における理科の授業の充実を図る

- ・理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)の養成と拠点校づくり
- ・理科支援員の配置(拠点校)
- ・科学の甲子園ジュニア(中学生部門)の開催

## NEW 外国語教育推進プラン実践事業 14,260千円

▶49p

本県の小・中学校の外国語教育の充実を図るために、県内の外国語担当教員及び外国語活動担当教員の指導力の向上を図るとともに、次期学習指導要領を見据えた外国語教育の推進を図る

- ・本県の外国語教育を推進する中期プランの作成
- ・外国語教育の中核となる「コアティーチャー」の育成(年間20名程度)、コラスクールの構築
- ・早期英語教育の地域拠点モデルの構築
- ・「英語ライティングシート」や「中学校でこれだけは身につけてほしい基礎英単語1200」の活用
- ・小学校外国語活動の教科化を見据え、集合研修(年間3回)及び英語力向上のためのe-learning研修を実施
- ・中高英語教員の専門力向上のため、授業づくり講座(年間2回)及びe-learning研修を実施
- ・土佐教育研究会や高知県高等学校教育研究会との連携によるブロック別研修(4日)の実施



## 中山間地域小規模・複式教育研究指定事業 2,038千円 (1,951千円)

▶50p

中山間地域の教育振興のために、指定地域の小規模校や複式学級を有する小学校において研究を推進するとともに、モデルとなる成果を普及することで、教員の指導力の向上及び児童生徒の学力向上を図る

## 拡 就職支援対策事業 42,977千円 (43,376千円)

▶51p

就職状況の情報収集や分析を行うとともに、事業所訪問による求人開拓や就職者の定着指導等を行う

- ・教員、就職アドバイザーによる事業所訪問、県内外就職アドバイザーの配置、就職対策連絡協議会の運営 など

## NEW 高校生の志を応援する事業 83,118千円 (61,859千円)

▶52p

高知のキャリア教育の柱である「学力向上」に重点化して、教員の指導力の向上及び学校の学習支援体制の充実を図り、生徒の高い志の実現を支援する

- ・学力向上サポート事業:すべての全日制・昼間部において全学年を対象に「学力定着把握検査」を実施
- ・教師塾事業:拠点校5校を指定し、難関大学の試験問題の研究、授業研究、教科指導勉強会等を行う
- ・魅力ある学校づくり推進事業:各学校の特色ある取組を推進するとともに学校関係者・地域の方々に周知 など



## 拡 特別支援教育を柱に据えた学校づくり事業 3,914千円 (883千円)

▶53p

指定中学校区における特別支援教育の体制づくりへの重点的な支援を行うとともに、研究発表会等を通じてその成果の普及を図る

- ・指定中学校区:中部管内1地区(H25)⇒東部・中部・西部管内各1地区 計3地区(H26)

**特別支援教育に係る校内委員会の充実事業 813千円 (979千円) ▶54p**

小・中学校の校内支援体制を強化するために、各校の校内委員会に特別支援教育地域コーディネーターを派遣するとともに、県が作成した個別の支援計画の周知徹底を図る

**特別支援学校の幼児児童生徒の居住地校交流実践充実事業 250千円 (393千円) ▶55p**

特別支援学校の子どもたちが、転出や卒業後にそれぞれの地域社会において生き生きと生活ができるよう、居住地にある小・中学校との交流及び共同学習を推進

**保・幼・小連携推進支援事業 1,850千円 (1,430千円) ▶56p**

県内の保幼小の円滑な接続を促進するために、高知市内の小学校・保育所等で作成された保幼小連携のモデルプランの実効性を検証するとともに、モデルプランを基に他市においても実態・課題に応じたプランを策定・実施する

**保幼小連携「スマイルサポート」事業 740千円 (740千円) ▶57p**

発達障害等のある幼児に対し、計画的・継続的な指導、支援を行うことができるよう、保育所・幼稚園等と就学先との円滑な接続を図る「就学時引き継ぎシート」の普及を行う

**8 教職員として日々研さんし、互いに高め合う取組を進めよう**

**NEW 高知「志」教師塾（次世代のリーダー育成研修） 2,533千円 ▶58p**

本県教育のレベルアップを目指し、10年経験者研修を修了した中堅層の教諭・指導主事等を対象に現代の教育課題や学校経営課題、リーダーとしての生き方・在り方に関わる研修を通して、次世代リーダーを意図的・計画的に育成

**教科研究センター費 23,276千円 (23,162千円) ▶59p**

本県教員の自主的な授業研究・教科研究活動を支援する「教科研究センター」（県内4ヶ所）の強化  
・学習指導案・実践事例の収集、授業づくりの支援を行うアドバイザーの配置、教科研究便り「まな net」の発行等

**【再掲】算数・数学学力向上実践事業 ▶47p**

**【再掲】外国語教育推進プラン実践事業 ▶49p**

**【参考】平成26年度教育センターの主要な研修 ▶60p**

**9 校長等のリーダーシップのもと意欲と活力に満ちた組織的な学校づくりを進めよう**

**学校経営診断による学校経営の改善に関する研究 686千円 (686千円) ▶61p**

研究指定校（県立3校）において、学校経営の現状を把握し、成果と課題を明確にすることで、組織的な学校経営を進める方策を見出す学校経営診断の研究を行う

**学校サポート事業 2,035千円 (2,184千円) ▶62p**

個々の学校組織における課題の把握と改善に向けた取組の支援  
・「学校経営診断カード」による経営診断の実施と分析、「学校問題サポートチーム」による指導・助言等の支援



**重点ポイント推進事業 5,530千円 (4,243千円) ▶63p**

- ・発達障害やその対応に関し教職員に指導・助言できる人材の育成⇒高知大学大学院へ7名派遣
- ・学校組織マネジメント等に関する専門的知識・理論を有する人材の育成⇒鳴門教育大学大学院へ1名派遣
- ・生徒指導上の諸問題に関しスクールカウンセラー的役割を果たせる人材の育成⇒鳴門教育大学大学院へ1名派遣

## 10 学びの拠点である教育機関を整備・充実させよう

新図書館等整備事業 千円（827,527千円）※調整中

教育版「地域アクションプラン」推進事業 181,546千円（154,696千円）▶64p

各地域における教育課題の解決、とりわけ「知・徳・体」のさらなる改善に向けた各市町村の自主的・主体的な取組を教育版「地域アクションプラン」として位置付け、人的面及び予算面からの支援を行う。

学校 ICT サポート事業 8,879千円（8,897千円）▶65p

学校の ICT 活用を向上させるために、増加する学校からの ICT 機器やソフトウェアの操作、トラブル等に関する問い合わせに対し、専門的な知見から解決方法やアドバイスを与える窓口業務を委託する

【再掲】図書館活動事業 ▶34p

## 11 南海トラフ地震対策

公立学校耐震化促進事業費 253,477千円（189,335千円）▶66p

公立学校の建物の耐震化を促進するため、学校の設置者である市町村等に補助を行う

◆公立学校施設耐震診断支援事業費補助金 5,831千円

補助対象経費:S56以前に建築された校舎等の耐震診断（第2次診断以上）費用及び認定手数料【補助率1/3以内】

◆公立小中学校耐震化促進事業費補助金 247,646千円

補助対象経費:校舎等の①耐震補強等工事に係る経費及び②耐震補強等工事に伴う経費【補助率①1/6以内、②定額】

防災教育推進事業費 20,292千円（31,016千円）▶67p

- ・防災教育研修会の実施（H25:4回→H26:4回）
- ・高校生防災ハンドブックの作成・配付、「防災教育実践事例集」の配付、「安全教育プログラム」の普及
- ・モデル校における実践的な防災教育の実施（H25:12校→H26:12校）
- ・地域住民の参加を得た体験的に学ぶ防災キャンプの実施（H25:5地域→H26:5地域）
- ・学校防災アドバイザーの派遣（H25:100校→H26:100校）

保育所・幼稚園等の南海トラフ地震対策 1,293,808千円（471,998千円）▶68p

保育所・幼稚園等の乳幼児の安全確保のために必要となる経費に対する支援や研修会等を実施

◎ハード対策 1,291,965千円

◆保育所・幼稚園耐震診断事業費補助金 4,229千円

◆幼稚園耐震化促進事業費補助金 1,750千円

◆保育所等緊急整備事業費補助金 906,141千円

◆保育所・幼稚園等安全確保対策事業費補助金 12,390千円

・室内の安全確保と高台移転への準備、検討への促進

**NEW** ◆保育所・幼稚園等高台移転施設整備事業費補助金 367,455千円

・高台移転に伴う施設整備への支援（高知県職員等こころざし特例基金を活用）

◎ソフト対策 1,843千円

◆南海トラフ地震対策研修等事業 1,843千円

・防災教育等研修会の実施（県内3会場） 避難訓練の定着、防災マニュアルの改善状況の把握・検証



じしんまん  
高知県防災キャラクター  
◎やなせたかし

▶69p

## 12 文化財の保護と活用

高知城保存管理費 151,416千円（75,333千円）▶70p

高知城及び史跡高知城跡の適切な保存を進め、県民の憩いの場として、また中核的観光資源としての活用を図る